

「県南地域感染症情報」に関する御意見、御質問等はFAXまたはメールでお願いします。
 メール返信の方は、右の「感染症情報連携シート」をクリックして記載願います。
 県南保健所生活衛生部医療薬事課
 FAX0248-23-1252 メールアドレス kansen_kennan@pref.fukushima.lg.jp

感染症情報連携シート

県内で風しんが発生しています。

＜風しんの発生状況＞

関東地方を中心に30～50歳代男性の風しん患者数が大幅に増加しており、9月末までの風しん患者数は、**昨年度の10倍以上、1,000人を越えました。**

県内では、福島市内の**30歳代～50歳代の男性**が相次いで**風しん**と診断され、10月には**郡山市**といわき市内の**40歳代男性**が**風しん**と診断されました。

＜風しんについて＞

風しんは、軽い風邪症状で始まり、発疹、発熱、後頭部リンパ節腫脹などが主症状です。脳炎や血小板減少性紫斑病を合併することもあります。特に成人で発症した場合、高熱や発疹が長く続いたり、関節痛を認めるなど、小児より重症化することがあります。

また、妊婦が妊娠初期に風しんにかかると、お腹の中の赤ちゃんにも感染し、赤ちゃんが病気（**先天性風しん症候群**）を持って生まれる可能性があります。

＜予防接種について＞

麻しん・風しんワクチンを受けましょう



定期予防接種の時期・対象者

1期 **1歳以上2歳未満**

2期 **小学校就学前の1年間（年度内に6歳になる者）**

市町村によっては、

妊娠を希望する女性・その配偶者等

風しんの抗体検査受検費用や予防接種費用を助成している場合もあります。

妊娠を希望する女性、妊婦とご家族へ

風しんの報告数が増加しています
風しんからお腹の子どもを守りましょう

- ・妊婦が風しんにかかることで、生まれながらにして眼や耳、心臓に障害をもった子どもが生まれることがあります。
- ・この障害は、先天性風しん症候群（CRS）とよばれています。

【皆様のできるごと】

妊婦 妊婦を希望している人 妊婦の同居家族

抗体検査を受けましょう。

↓ 抗体価が低い場合 ↓ 抗体価が低い場合 ↓

ワクチン接種を検討しましょう。
※ワクチン接種後2ヶ月程度は、避妊するようにしましょう。

不要不急の外出を避け、人混みに近づかないようにしましょう。

風しんを疑う症状（発熱、発疹など）が出現した際は、医師に相談しましょう。
※妊娠中は、ワクチン接種を受けることができません。

★ 医療機関の皆様へ ★

- 1 風しんを診断した場合は直ちに保健所に届出と行政検査の協力をお願いします。
- 2 発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、**予防接種歴を確認**するなど風しんを意識した診療をお願いします。また、風しんの感染力の強さに鑑みた**院内感染対策**をお願いします。

福島県ホームページ

風しんに気をつけましょう

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045a/kansenkangokansen21.h>
 tml